

# ディスタンス

「ディスタンス」は、<sup>な</sup>投げたディスクの<sup>ひきより</sup>飛距離を<sup>きそ</sup>競う<sup>きょうぎ</sup>競技です。

3<sup>とう</sup>投して<sup>とお</sup>どれだけ<sup>な</sup>遠くに<sup>きそ</sup>投げられたかを競います。

- (1) スローイングエリアはスローイングラインと、エンドラインを結ぶ四角形（1.6 m×1.8 m）の<sup>はんい</sup>範囲内とし、プレーヤーはこのエリア内でスローイングしなければならぬ。
- (2) プレーヤーは、1<sup>かい</sup>回のテストスローイング（ディスクは<sup>きょうぎよう</sup>競技用と同規格で<sup>きいろ</sup>黄色）と、3<sup>かい</sup>回の<sup>しぎ</sup>試技を行う。記録は3<sup>おこな</sup>投中<sup>きろく</sup>最も<sup>とうちゅうもつと</sup>距離の<sup>きより</sup>遠い<sup>とお</sup>地点を<sup>ちてん</sup>計測する。
- (3) 距離計測は、スローイングライン中央<sup>ちゅうおうちてん</sup>地点からディスクが<sup>さいしょ</sup>最初に<sup>ふ</sup>触れた点までとし、<sup>ゆうこうはんい</sup>有効範囲はスローイングラインの<sup>ぜんぽう</sup>前方から<sup>どい</sup>180度以内とする。
- (4) 計測は1<sup>けいそく</sup>cm<sup>たんい</sup>単位とし、メートルで<sup>きろく</sup>記録する。mm単位は<sup>たんい</sup>切り捨てる。
- (5) プレーヤーがスローイングライン（<sup>あしどめざい</sup>足留材）の<sup>じょうぶまた</sup>上部又は<sup>そとがわ</sup>外側の<sup>じめん</sup>地面に<sup>ふ</sup>触れたときは<sup>むこう</sup>無効とする。無効となったスローイングは、1<sup>かい</sup>回として<sup>かぞ</sup>数えるが、<sup>けいそく</sup>計測はしない。
- (6) 座位で<sup>ざい</sup>競技する場合、<sup>きょうぎ</sup>車椅子など<sup>ばあい</sup>座るための<sup>くろまいす</sup>用具の<sup>すわ</sup>高さは、<sup>ようく</sup>クッションを含めて、<sup>たか</sup>75cm<sup>ふく</sup>以下とする。